

上半期業績と通期予想（経常利益・当期純利益等）

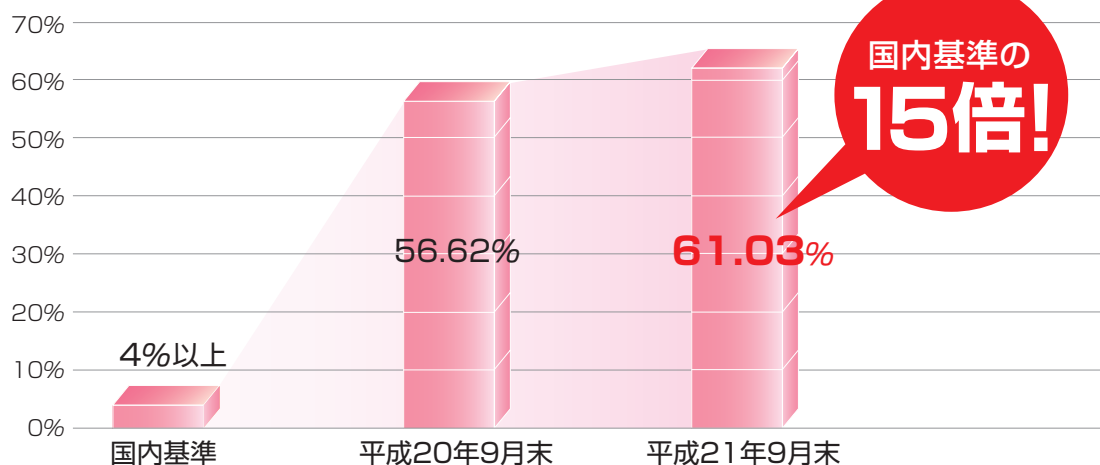
◎上半期業績

経営の健全性・安定性を高めるため、役職員一丸となって業務推進に取り組んで参り、預金・貸出金ともに前年を上回る実績となりました。収益状況については、**経常利益は737百万円**、税引後の**当期純利益は589百万円**、また金融機関の収益力を示す重要な指標である**業務純益は933百万円**となって、前年に比べて増益となりました。

◎通期予想

全国的には景況感は改善しているものの、依然厳しい経済状況ではありますが、平成21年3月末対比では、経常利益、当期純利益ともに増益を確保することができる見込みであります。

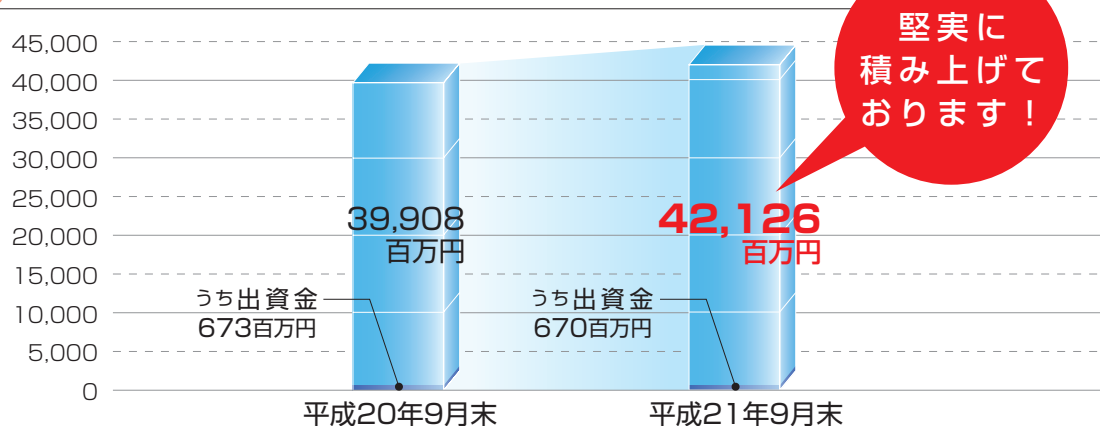
単体自己資本比率の推移（国内基準）



自己資本比率について

自己資本比率は金融機関にとって体質強化の面からも重要視されています。金融機関の経営は、資金調達を預金積金などの外部負債に大部分を依存して成り立っており、自己資本は外部負債に対する最終担保となるものですから、一般的に自己資本比率が高いほど財務の安全性・健全性が高いといえます。

自己資本額の推移



●単体自己資本比率の算出における特別積立金

金融機関の健全性は配当負担のない特別積立金の額も重要です。

平成21年9月末の当金庫の上記「特別積立金」は**400億円**を超え、健全な体質を堅持しております。

- 自己資本比率規制に基づく自己資本比率 [61.03%]
- リスク・アセット等に対する特別積立金の比率 [58.46%]
- 総資産に対する特別積立金の比率 [10.28%]